

「第8期米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」 の進捗状況について（令和4年度）

介護保険制度の円滑な運営

(1) 第1号被保険者数

第1号被保険者数(65歳以上)については、計画上の推計値では令和4年度は43,124人としており、実績値が推計値を379人下回っています。

令和4年度の第1号被保険者数の伸び率はマイナス0.06%となっており、令和3年度末と比較し、28人減少しています。また、令和5年3月31日現在の住民基本台帳上における65歳以上の人口42,918人で、全人口に対する割合(高齢化率)は29.53%となっています。

| | 計画値 | 実績値 |
|-------|----------|----------|
| 令和4年度 | 43, 124人 | 42, 745人 |
| 令和3年度 | 42, 961人 | 42, 773人 |

(2) 認定者数

要介護認定者数については、計画上の目標値は8,814人、認定率は20.4%していましたが、令和5年3月末現在8,828人、認定率は20.65%となっています。

令和4年度の認定者の伸び率は0.3%で、前年度より26人増加しており、認定率は0.07ポイント増加しています。

| | | 計画値 | 実績値 |
|-------|------|---------|---------|
| 令和4年度 | 認定者数 | 8, 814人 | 8, 828人 |
| | 認定率 | 20. 4% | 20. 65% |
| 令和3年度 | 認定者数 | 8, 724人 | 8, 802人 |
| | 認定率 | 20. 3% | 20. 58% |

(3) 介護保険サービスの総支給費

令和4年度の介護給付費の伸び率は0.79%となり、依然として増加傾向はあるものの、計画値に対する実績値比率は、94.27%となり、計画値を下回る結果となりました。主に居宅サービス費が減少したことの影響によるものと考えられます。以下には、居宅サービス費、地域密着型サービス費、施設サービス費についてその内訳を記載しています。

| | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 計画値(千円) | 実績値(千円) | 計画値(千円) | 実績値(千円) |
| 総給付費 | 14, 107, 194 | 13, 298, 474 | 13, 638, 475 | 13, 194, 884 |

| | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 居宅サービス費 | 6, 184, 497 | 5, 672, 815 | 6, 083, 772 | 5, 820, 075 |
| 地域密着型サービス費 | 3, 438, 954 | 3, 316, 286 | 3, 298, 561 | 3, 220, 024 |
| 施設サービス費 | 4, 483, 743 | 4, 309, 373 | 4, 256, 142 | 4, 154, 785 |

(4) サービス別給付費等の見込み

i) 居宅サービス費

居宅サービス費については、訪問介護、訪問看護等の訪問系のサービスが増加している一方で、通所介護や通所リハビリテーションといった通所系のサービスは減少しています。全国的にも同様な傾向がみられ、その要因の一つとして新型コロナウイルス感染症の影響による通所系サービスの利用控えの可能性が考えられます。このため、居宅サービス費合計の実績値は前年度からわずかに減少し、計画値と比較して開きが出る結果となっています。

| 区分 | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 計画値(千円) | 実績値(千円) | 計画値(千円) | 実績値(千円) |
| 居宅サービス費 | 6, 184, 497 | 5, 672, 815 | 6, 083, 772 | 5, 820, 075 |
| 訪問介護 | 961, 123 | 979, 388 | 945, 216 | 975, 916 |
| 訪問入浴介護 | 16, 926 | 23, 032 | 16, 916 | 24, 103 |
| 訪問看護 | 361, 382 | 390, 312 | 353, 959 | 380, 427 |
| 訪問リハビリテーション | 181, 659 | 165, 412 | 179, 884 | 154, 665 |
| 居宅療養管理指導 | 91, 332 | 105, 203 | 88, 191 | 95, 385 |
| 通所介護 | 1, 326, 844 | 1, 023, 623 | 1, 329, 928 | 1, 100, 789 |
| 通所リハビリテーション | 1, 000, 801 | 776, 017 | 973, 747 | 858, 188 |
| 短期入所生活介護 | 254, 844 | 230, 217 | 250, 054 | 243, 131 |
| 短期入所療養介護 (介護老人保健施設) | 43, 093 | 41, 527 | 43, 070 | 57, 798 |
| 短期入所療養介護 (介護療養型医療) | 0 | 1, 288 | 0 | 915 |
| 短期入所療養介護 (介護医療院) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 福祉用具貸与 | 472, 946 | 500, 177 | 469, 973 | 477, 017 |
| 福祉用具購入 | 20, 346 | 23, 435 | 20, 453 | 23, 636 |

| | | | | | |
|--|-----------------|----------|----------|----------|----------|
| | 住宅改修費 | 49, 121 | 40, 357 | 48, 344 | 41, 426 |
| | 特定施設入居者 生活介護 | 789, 367 | 753, 929 | 762, 176 | 780, 087 |
| | 居宅介護支援 | 614, 713 | 618, 898 | 601, 861 | 606, 602 |

ii) 地域密着型サービス

地域密着型サービスについては、前年度と同様にゆるやかに増加する傾向となっています。第8期の計画で新規の地域密着型サービス施設を予定しており、事業所が開所された場合は概ね計画値どおりとなることが見込まれます。

| 区分 | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 計画値(千円) | 実績値(千円) | 計画値(千円) | 実績値(千円) |
| 地域密着型サービス費 | 3, 438, 954 | 3, 316, 286 | 3, 298, 561 | 3, 220, 024 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 289, 030 | 247, 925 | 288, 870 | 213, 308 |
| 夜間対応型訪問介護 | 0 | 578 | 0 | 0 |
| 地域密着型通所介護 | 349, 921 | 361, 840 | 344, 798 | 385, 318 |
| 認知症対応型通所介護 | 161, 983 | 166, 182 | 163, 234 | 187, 305 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 811, 552 | 848, 783 | 811, 102 | 792, 118 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 1, 121, 608 | 1, 085, 243 | 1, 051, 251 | 1, 039, 071 |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 121, 663 | 85, 954 | 121, 596 | 97, 777 |
| 地域密着型介護老人福祉施設 | 250, 379 | 264, 307 | 250, 240 | 262, 026 |
| 複合型サービス(看護小多機) | 332, 818 | 255, 474 | 267, 470 | 243, 101 |

iii) 施設サービス費

施設サービスについては、概ね計画値どおりに推移しています。介護療養型医療施設は令和5年度末で廃止することが決まっており、実績も年々減少していたため、計画値も低く設定しています。また、令和4年度に介護医療院が新たに開所されたため、前年度と比較して実績値が増加しています。

| 区分 | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 計画値(千円) | 実績値(千円) | 計画値(千円) | 実績値(千円) |
| 施設サービス費 | 4, 483, 743 | 4, 309, 373 | 4, 256, 142 | 4, 154, 785 |
| 介護老人福祉施設 | 1, 711, 398 | 1, 776, 350 | 1, 689, 932 | 1, 739, 110 |
| 介護老人保健施設 | 2, 246, 277 | 2, 210, 642 | 2, 245, 032 | 2, 181, 226 |
| 介護療養型医療施設 | 4, 152 | 20, 885 | 4, 150 | 14, 567 |
| 介護医療院 | 521, 916 | 301, 496 | 317, 028 | 219, 882 |

(5)介護保険料収納率の向上

収納率向上に向けた取組として、早期からの納付勧奨を実施し、現年分については概ね計画値どおりとなりました。繰越分については、今後、さらなる滞納整理に取り組む必要があると考えます。

| | | 計画値 | 実績値 |
|-------|-----|---------|---------|
| 令和4年度 | 現年分 | 99. 18% | 99. 27% |
| | 繰越分 | 24. 36% | 18. 85% |
| 令和3年度 | 現年分 | 99. 12% | 99. 22% |
| | 繰越分 | 24. 36% | 21. 49% |

(6)ケアプランの適正化

介護保険制度の目的である「自立支援」を実現するため、本市に配属された介護給付適正化専門員によって自立支援の観点からケアプランを点検するとともに、適正なプラン作成ができるよう指導・助言を行いました。

包括支援センターにおいては、予防プランの適切な作成についてセンターごとに個別指導を行いました。また、居宅介護事業所及び地域密着型サービス事業所（小規模多機能）についても全事業所のケアプランの点検を行いました。

| | 計画値 | 実績値 |
|-------|--------------------|---------------------|
| 令和4年度 | 全事業所の70% (42力所) | 全事業所の78% (47力所) |
| 令和3年度 | 全事業所の50% (30力所) | 全事業所の100% (60力所) |

(7)事業者への適切な指導・監査の実施

令和3年度は、新型コロナウイルス警報（鳥取県版）で警報が発令されたことにより、実施指導を計画どおり実施することができませんでしたが、令和4年度は29事業所に対して実施することができました。引き続き、県と連携を取りつつ適切な指導・監査を実施していきます。

| | 計画値 | 実績値 |
|-------|-------|-------|
| 令和4年度 | 35事業所 | 29事業所 |
| 令和3年度 | 30事業所 | 7事業所 |

| その他の主な取り組み実績 | |
|---|--|
| ○総覧点検・医療情報との突合の推進 | |
| ・診療報酬明細書の点検による介護事業所への過誤請求等の修正依頼 4,213件 効果額 18,698,291 円 | |
| ○制度の普及啓発 | |
| ・市報「広報よなご」における介護保険特集号の作成・配布(年1回) ・介護保険パンフレット「あんしん介護保険」の作成・配布 ・広告付き無料冊子を活用した認知症ケアパス、介護保険事業所一覧表の作成・配布 | |
| ○利用者負担軽減施策の啓発 | |
| ・高額介護サービス費の勧奨・給付 給付実績 275,028,489 円 ・社会福祉法人減免補助金 實施法人4法人 補助金額 5,788,724 円 | |
| ○利用者負担軽減施策の啓発 | |
| ・介護認定業務分析データにより本市の認定調査結果を全国平均と比較・分析し、全国平均とのかい離等が認められないか確認を行った ・認定調査員を対象とした、調査技術向上に向けた e ラーニングや、オンライン研修の受講を実施 | |

社会参加しやすい環境づくり

(1)介護支援ボランティア登録者数

高齢者が、楽しみながらボランティア活動を行い、自らの介護予防や社会参加、地域づくりに取り組めるよう、介護ボランティア制度を通じて多様な活動の場を提供しています。対計画比で 55.0%となっており、引き続き登録者の増加とボランティア受入施設の拡充に努めていく必要があります。

| | 計画値 | 実績値 |
|-------|------|-----|
| 令和4年度 | 120人 | 66人 |
| 令和3年度 | 110人 | 53人 |

(2)地域包括ケアシステムの充実

地域包括支援センターを地域包括ケアシステム推進の中核機関として位置づけ、各センターで地域の支援者・団体や他職種の専門職と連携しながら、地域包括ケアシステムの構築に向けた体制整備を図りました。

総合相談受付件数は増加しており、今後も地域包括支援センター活動の周知啓発及び関係機関との連携強化を図っていきます。

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|------------------------------|----------|----------|
| 地域ケア推進会議※2 地域ケア個別会議※3開催回数 | 140回 | 131回 |
| 自立支援型地域ケア会議※4 開催回数 | 4回 | 2回 |
| 総合相談※5受付件数 | 84, 481件 | 77, 303件 |

※2 地域ケア推進会議…地域の高齢者を取り巻く諸問題や支え合いをテーマにした会議

※3 地域ケア個別会議…個別事例の課題検討を実施する会議

※4 自立支援型地域ケア会議…個別事例に対する多職種の専門的な視点に基づく助言を通じ、対象となる高齢者の QOL 向上に加え、自立に資するケアマネジメントの視点や、サービス等の提供に関する知識・技術の習得を図るもの

※5 総合相談…地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするもの

| その他の主な取り組み実績 |
|--|
| ○地域のネットワークづくりと住民による課題共有・解決への支援 |
| ・地域の見守り活動等と連携しながら、地域住民の困りごとを受け止め、支援関係機関へのつなぎや、住民同士の相互扶助による解決の支援を行う「地域活動支援員」を配置 |
| ○民生委員の訪問活動 |
| ・一人暮らしの高齢者等を民生委員が訪問し、必要に応じて地域包括支援センターや行政機関等と連携を行い、その後の見守りや支援活動を実施 |
| ○事業者との連携による見守り |
| ・中山間集落見守り活動に関する協定書に基づき締結した事業者等からの通報により、市が 警察等と連携して安否確認や緊急対応を実施 |
| ○地域包括支援センターの機能強化 |
| ・全国統一の評価指標を活用したセンター「業務自己評価」を実施 |
| ・地域包括支援センター運営協議会の開催 |
| 《各センターにおける取組み》 |
| ・専門性の維持及び資質の向上を目的として、介護予防ケアマネジメント等の研修への参加 |
| ・居宅介護支援事業者との事例検討会等、他職種との連携に向けた取組みを継続 |
| ・地域のサービス事業所や専門職、民生児童委員等に対し高齢者支援に関する啓発活動の実施 |

健康で安心して暮らせるまちづくり

(1)在宅生活を支援するサービスの充実

i) 軽度生活援助サービス

家事などな困難な在宅の一人暮らしの高齢者で非課税世帯の方を対象に、簡易な家事をシルバーパートナーセンターに委託し、要介護者などの自立した生活を支援しました。

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|------|---------|---------|
| 利用人数 | 114人 | 127人 |

ii) 家族介護用品助成事業

要介護4又は5と認定された高齢者を在宅で介護している非課税世帯を対象に、紙おむつなど介護用品の購入に利用できるクーポン券を支給しました。

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|------|---------|---------|
| 受給人数 | 63人 | 64人 |

iii) 緊急通報装置貸出事業

一人暮らし高齢者などの緊急時の対応のため、緊急通報装置※6の貸出を行いました。

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|------|---------|---------|
| 貸出台数 | 75台 | 75台 |

※6 緊急通報装置…ボタンひとつで包括支援センターなど登録してある連絡先に自動的に緊急通報が発信できる機器

iv) はり・灸・マッサージ施術費助成

70歳以上の非課税世帯の高齢者を対象に、はり・灸・マッサージ施術費の一部を助成しました。

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|------|---------|---------|
| 助成人数 | 24人 | 20人 |

(2) 避難行動要支援者事業の実施

令和3年5月の災害対策基本法の改正において、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされ、災害時の「逃げ遅れゼロ」を目指すことが強く求められてきたことを受け、避難行動要支援者名簿※7の整備と個別避難計画※8の作成を行うこととしました。令和3年度のモデル地区における先行実施の結果を踏まえ、令和4年度には対象者の見直しを中心とした事業の見直し及び、「米子市避難行動要支援者名簿情報及び個別避難計画情報の提供に関する条例」の制定を行い、令和5年度の事業の本格実施に備えました。

※7 避難行動要支援者名簿…避難行動要支援者の氏名・生年月日・連絡先・避難支援を必要とする事由等、各情報を記載した名簿。避難支援に際して必要な措置を実施するための基礎とするもの

※8 個別避難計画…名簿情報に加え、避難先・避難の際の支援者等を記載した、対象者ごとの避難計画。避難支援等を円滑に実施するためのもの

在宅生活に向けたサービスと資源づくり

(1) フレイル対策の推進

在宅生活をいつまでも健康で過ごすための取組として、永江地区をモデル地区に選定し、地区住民の方にフレイル度チェックを実施するとともに、「フレイル」・「プレフレイル」に該当した方のうち、希望者に対して改善に向けた教室(フレッシュアップスクール)を開催するなど、フレイル対策の推進事業を図りました。また、地区担当保健師によるフレイル予防の普及啓発、個別相談及びフレイル予防講話等を全市的に展開しました。

こうした取組に加え、市民が日常的にフレイル予防に触れる機会を創出するため、市内にフレイル対策拠点(3カ所)を設置し、フレイル度チェックの実施、フレイル予防実践及び情報発信を実施するとともに、令

和4年度から、フレイル対策拠点で実施する運動教室(ふらっと、運動体験)を市内公民館にリモートで配信することにより、身近に運動体験ができる環境を整えました。

| 令和3年度実績 | |
|----------|---|
| フレイル対策事業 | <p>○フレイル度チェック</p> <p>・市内全域</p> <p>市内在住の65歳以上の方(要介護1～5を除く)を対象に実施</p> <p><実施状況></p> <p>実施者数(延人数) 1,924 人</p> <p>実施者数(実人数) 1,597 人</p> <p><実施結果></p> <p>健康 55%</p> <p>プレフレイル 29%</p> <p>フレイル 16%</p> <p>・永江地区</p> <p>永江地区在住の 64 歳以上の方(要介護1～5を除く)を対象に実施</p> <p><実施状況></p> <p>実施者数(延人数) 424 人</p> <p><実施結果></p> <p>健康 63%</p> <p>プレフレイル 24%</p> <p>フレイル 13%</p> <p>○フレイル対策拠点の設置</p> <p>フレッシュアップスクール、フレイル予防実践体験ツアーの実施等</p> <p>令和4年度 3拠点</p> |

(2)健康づくり・やって未来や塾

地域において、住民主体で運動を行う等の取組に対し、活動支援を実施しています。会場によっては参加者が減ったり、活動内容がマンネリ化したりしている所もあることから、健康運動指導士等の専門家が活動の活性化や質の向上を図るよう支援しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、サロン等の地域活動が自粛したため、新規サークル創設は1カ所のみとなりました。

| | 令和4年度 | | 令和3年度 |
|-----------|-------|-----|-------|
| | 計画値 | 実績値 | 計画値 |
| 新規サークル活動数 | 2カ所 | 1カ所 | 2カ所 |

(3)通所型運動機能向上事業

マシントレーニングやストレッチなどを行う教室を開催し、新規利用者の拡大を図り、運動のきっかけ作り

から、事業終了後も運動継続につながるよう事業所との連携や地域活動への移行などに取り組みました。

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|--------------------|---------|---------|
| がいなみく予防トレーニング利用者数 | 314回 | 313回 |
| ふらっと、運動体験！！利用者延べ人数 | 3, 696人 | 4, 078人 |

(4)介護予防・生活支援サービス事業

介護予防・生活支援総合事業は、介護予防・生活支援サービス事業(訪問型・通所型サービス、介護予防ケアマネジメント等)と一般介護予防事業(介護予防普及啓発事業等)で構成され、要支援者等の多様なニーズに要支援者等の能力を最大限活かしつつ多様なサービスを提供するしくみとして実施しており、生活支援の充実や高齢者の社会参加・地域の支え合い体制づくり等を目指しています。

令和4年度については、令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた部分があると考えていますが、計画値と実績のかい離を踏まえ、改めて利用状況や事業内容について検証・検討していくことが必要であると考えています。

| | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|---------------|----------|----------|----------|----------|
| | 計画値(千円) | 実績値(千円) | 計画値(千円) | 実績値(千円) |
| 介護予防・日常生活総合事業 | 528, 705 | 526, 714 | 519, 108 | 534, 370 |

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|------------------|----------|----------|
| 訪問型サービス延べ利用回数 | 39, 135回 | 39, 131回 |
| 通所型サービス延べ利用回数 | 68, 429回 | 70, 515回 |
| 通所型サービス C 延べ利用回数 | 102回 | 457回 |

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|--------------------|----------|----------|
| 介護予防ケアマネジメント作成延べ件数 | 10, 998件 | 11, 174件 |

| その他の主な取り組み実績 |
|---|
| ○在宅医療・介護の連携推進 |
| ・在宅医療の啓発のための公民館講座開催回数 1回 ・エンディングノート(「もしものときの安心手帳」・「終活支援ノート」)配布部数 2, 000部 |
| ○医療・介護等の関係職種間の顔が見える関係づくり |
| ・西部圏域在宅医療・介護連携に係る意見交換会参加回数 11回 |

認知症になつても暮らしやすい地域と人づくり

(1) 認知症サポーター養成講座

小中高等学校で、認知症高齢者にかかる紙芝居等を活用しながら、若い世代の支え手としてのキッズサポーターを養成し、学校教育の段階から認知症への理解を深める講座を実施しました。

また、職場や専門学校、地域の集まり等に積極的に出かけて講座を実施し、多くの認知症サポーターを養成して、認知症を正しく理解し、支援する体制づくりに努めました。職場での講座では、若年認知症についての啓発を追加で実施し、より身近な課題としてさらなる理解に繋げました。

今後の導入について検討している「認知症サポーターステップアップ講座」との連携手法等について検討していく必要があります。

| | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|
| | 計画値 | 実績値 | 計画値 | 実績値 |
| 認知症サポーター 養成講座受講者数 | 25,000人 | 21,711人 | 23,000人 | 21,084人 |

(2) 認知症予防事業

通所型介護予防事業として認知症予防プログラムのサービスを実施し、運動機能向上を中心に個々のニーズにあった予防サービスを提供し自宅での生活リズムの改善を図りました。また、「認知症予防プログラム」教室を認知症の人と家族の会への委託により実施しました。

このほか、認知症の早期発見、早期対応のために、タッチパネル検査、公民館祭等の地区的イベントやサロン等で検査を実施しました。計画値と実績のかい離が大きいことから、事業内容や効果等について検証が必要であると考えています。

| | 令和4年度 | | 令和3年度 | |
|-------------|-------|-----|-------|-----|
| | 計画値 | 実績値 | 計画値 | 実績値 |
| 予防プログラム利用者数 | 100人 | 32人 | 90人 | 39人 |

| | 令和4年度実績 | 令和3年度実績 |
|-------------|---------|---------|
| タッチパネル検査等の数 | 336件 | 334件 |

| その他の主な取り組み実績 |
|--|
| ○認知症サポートチーム(認知症初期集中支援チーム)の配置 |
| ・認知症の人の介護者・支援者への支援として、必要な医療や介護の導入や家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行う認知症初期集中支援チームを各地域包括支援センターに設置し、認知症サポート医や作業療法士の協力を得ながら支援を実施 |
| ○認知症地域支援推進員の配置 |
| ・地域包括支援センター、ケアマネ等が、認知症の人及びその家族に対し円滑な支援を行うことができるよ |

うに、医療・介護・地域支援サービスの連携を図る認知症地域支援員を配置

- ・「認知症カフェ」や「家族のつどい」の企画運営を行い、必要な市民へは受診や介護サービスにつなげるための支援を実施

○認知症カフェの運営支援

- ・認知症の人やその家族が思いや希望を社会に発信できる場として、米子市の委託による運営が3カ所、その他13カ所の合計16カ所の設置。地域住民への参加も募り、認知症を知る場、相互扶助の輪を形成できる場作りを行った